

第6学年 社会科

教科 目 標	(1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切に、国を愛する心情を育てるようにする。 (2) 日常生活における政治の働きと我が国の政治の考え方及び我が国と関係の深い国の生活や国際社会における我が国の役割を理解できるようにし、平和を願う日本人として世界の国々の人々と共に生きていくことが大切であることを自覚できるようにする。 (3) 社会的事象を具体的に調査するとともに、地図や地球儀、年表などの各種の基礎的資料を効果的に活用し、社会的事象の意味をより広い視野から考える力、調べたことや考えたことを表現する力を育てるようにする。	
評 価 方 法	発表・観察・ノート・テスト・新聞等で評価する。	
月	単元・題材名	主な学習活動
4 月 ・ 5 月	さあ開こう歴史の扉を 歴史博物館へ行ってみよう 1 縄文のむらから古墳のくにへ 三内丸山遺跡と縄文のむら 板付遺跡と米づくり 縄文と弥生のくらし 学習の進め方 むらからくにへ 巨大古墳と豪族 大和朝廷と国土の統一	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な地域に残る歴史を伝える古いものを調べ、それらを日本全体の歴史年表に位置づける。 ● 作成した年表をもとに、時代区分の仕方を理解し、これからの学習の見通しを持つ。 ● 縄文のむらのくらしの様子について、関心を持つ。 ● 米づくりが始まったころの人々のくらしやむらの様子について関心を持つ。 ● 農耕の始まりによって、人々のくらしやむらの様子に変化したことに気付き、学習問題を立てる。 ● 食料、水、道具などをめぐり、むらとむらとが争い、大きな力を持ったむらは、他のむらに従えてくにへと発展していったことが分かる。 ● 渡来人がもたらした進んだ技術や文化が王や豪族の国づくりに役立ったことが分かる。 ● 多くの人々を働かせて、古墳をつくらせることができるほど、大きな力を持った王や豪族が現れたことに気付く。 ● 大和朝廷が九州地方から東北地方の南部までの豪族や王を従えたことが分かる。
5 月	2 天皇中心の国づくり 聖徳太子の国づくり 大化の改新と天皇の力の広がり 仏の力で国を治める 全国から集められた人々が大仏をつくる 大陸の文化を学ぶ 貴族のくらし 日本風の文化が生まれる	<ul style="list-style-type: none"> ● 法隆寺は、聖徳太子が建てた世界最古の木造建築物であり、後世に残すために工夫と努力を重ねてきた人がいることが分かる。 ● 聖徳太子が大陸文化を摂取して政治の仕組みを整え、国づくりを進めたことが分かり、学習問題を立てる。 ● 中大兄皇子や中臣鎌足が蘇我氏を倒し、目指した天皇中心の国づくりについて調べる。 ● 聖武天皇は、仏教の力で社会の不安をしずめ、国を治めるために大仏や国分寺をつくらせたことに気付く。 ● 大仏は、全国から人々や物資が集められてつくられたことが分かり、新しい政治が全国に及んでいたことに気付く。 ● 遣唐使や渡来人によって、大陸の進んだ技術や文化がもたらされ、聖武天皇はそれらを取り入れ、国づくりに生かそうとしたことが分かる。 ● 貴族のくらしぶりから、藤原道長たち貴族が大きな力を持つようになったことが分かる。 ● 貴族の華やかな生活の中から、日本風の文化が生まれたことが分かる。
6 月	3 武士の世の中へ 武士の政治の始まり 源氏と平氏が戦う 頼朝が東国を治める 元の大军がせめてくる 4 今に伝わる室町文化 金閣と銀閣 書院造と室町時代 雪舟と墨絵 生活の中の室町文化	<ul style="list-style-type: none"> ● 地方の有力農民は、田畑を切り開いて領地を拡大し、自分の領地を守るために武芸に励み、武士となったことをつかむ。 ● 武士の中には朝廷や貴族に仕えて力を付けるものが現れ、平氏や貴族の藤原氏に代わって政治を行うようになったことについて調べる。 ● 領地を与えてくれる新しい頭を求める武士たちが源氏に従うようになり、源氏が平氏を滅ぼしたことについて調べる。 ● 源頼朝はご恩と奉公の関係で武士を従え、執権の北条氏を中心とした幕府は法律や裁判の制度を整えて支配力を強めていったことが分かる。 ● 鎌倉幕府は、元との戦いで活躍した武士たちに新しい領地を与えることができず、ご恩と奉公の関係が崩れたことから、衰退していったことに気付く。 <ul style="list-style-type: none"> ● 金閣や銀閣はどのような建物なのか、気付いたことを発表し合い、これから学習していく内容に関心を持つ。 ● 室町時代につくられた書院造と文化の広がりについて調べる。 ● 雪舟が大成させた墨絵を中心に、この時代に生まれた文化について調べる。

7月	<p>5 戦国の世から江戸の世へ</p> <p>全国統一を進めた3人の武将 安土城と織田信長 大阪城と豊臣秀吉 江戸城と徳川家康 江戸幕府と大名 人々のくらしと身分 キリスト教を禁止する 鎖国の中での交流</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 屏風絵から戦国の世の戦いの様子について気づいたことを発表し、これから学習していく時代への関心を持つ。 ● 3人の武将が目指していたものについて調べる。 ● 信長が全国統一を目指して行ったことを調べる。 ● 全国を統一するために、秀吉が行ったことを調べる。 ● 全国の支配を成し遂げた家康の業績を調べる。 ● 幕府が、大名を従えていった様子を調べる。 ● 幕府が、百姓や町人などを支配していった様子を調べる。 ● 幕府が、キリスト教を禁止した理由を調べる。 ● 鎖国の間における海外との交流の様子を調べる。
9月・10月	<p>6 江戸の文化と新しい学問</p> <p>人々が歌舞伎を楽しむ 浮世絵が広がる 新しい学問・蘭学 国学と本居宣長 新しい時代への動き</p> <p>7 明治の国づくりを進めた人々</p> <p>若い武士たちが幕府をたおす 大久保利通と富国強兵 明治の新しい世の中 板垣退助と自由民権運動 伊藤博文と国会開設、大日本帝国憲法</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 江戸のまちのさまざまな場面から、この当時の社会の様子について気づいたことを話し合い、これから学習していく内容に関心を持つ。 ● 歌舞伎が、人々の間に広がっていった様子を調べる。 ● 浮世絵が、人々の間に広がっていった様子を調べる。 ● 蘭学が、社会に与えた影響について調べる。 ● 国学が、社会に与えた影響について調べる。 ● 江戸時代と明治時代の変化を捉え、明治維新の改革の大きさに気づく。 ● 大久保利通、西郷隆盛、木戸孝允ら若い武士たちが明治維新を進めたことが分かる。 ● 明治諸改革によって近代的な政治や社会の仕組みが整ったことを知り、大久保利通らが、どのような国づくりを目指したのかを考える。 ● 明治の新しい世の中の様子について、絵図などの資料を活用して調べ、文明開化によって人々の生活や意識に変化があらわれたことをまとめる。 ● 政府に不満を持つ人々の行動が反乱から言動へと変化していったことを、国会の開設を求める板垣退助の願いや行動と関連づけて考える。 ● 大日本帝国憲法の特色について、資料を活用して調べ、天皇に強い権限があることや選挙権を持つ人が国民の一部だったことをまとめる。
10月	<p>8 世界に歩みだした日本</p> <p>発展していく産業 条約改正を目指して 中国やロシアと戦う 朝鮮を植民地にする 国際社会で日本人が活やくする 生活や社会の変化</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 明治時代の産業がどう変化していったのか、グラフなどをもとに考える。 ● 不平等条約がもたらしていた不利益や、条約改正にかかわる陸奥宗光の願いや働きをまとめる。 ● 2つの戦争によって、日本と世界の国々との関係はどのように変わったかを考える。 ● 日本が朝鮮を植民地にして朝鮮の人々の誇りを傷つけたこと、勢力をのばして条約改正を果たし、欧米諸国と対等な地位を築いたことが分かる。 ● 医学などの分野で国際的に活躍した日本人の存在が、国力の充実や国際的な地位の向上につながったことをまとめる。 ● 日本の産業が発展したことや、民主主義の意識が高まったことが分かる。
11月	<p>9 長く続いた戦争と人々のくらし</p> <p>世界文化遺産の原爆ドーム 中国との戦争が広がる 戦争が世界に広がる 生活すべてが戦争のために 空襲で日本各地の都市が焼かれる 原爆の投下と戦争の終わり 世界文化遺産の原爆ドーム 中国との戦争が広がる 戦争が世界に広がる 生活すべてが戦争のために 空襲で日本各地の都市が焼かれる 原爆の投下と戦争の終わり</p> <p>10 新しい日本、平和な日本へ</p> <p>戦争のない世の中を目指して 民主主義による国を目指して 再び世界の中へ 高度経済成長のなかの東京オリンピック これからの日本を考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 原爆ドームが世界遺産になった理由を考える。 ● 日本が不況の打開や満州での権益を守るために戦場を中国全土に広げ、中国の人々に大きな損害を与えたことが分かる。 ● 戦争の広がりや当時のわが国の状況を関連付けて考え、まとめる。 ● 戦争中の生活の様子について調べ、国民生活のすべてが戦争のために注がれたことをまとめる。 ● 空襲による被害で、兵士以外にも多くの国民が日本の各地で犠牲になったことが分かる。 ● 沖縄戦、広島・長崎への原爆の投下により、多くの人々が犠牲になって敗戦を迎えたことが分かる。 ● 戦争が終わった後の社会の変化に関心を持つ。 ● 我が国が民主的な改革と平和主義的な日本国憲法を制定することにより、新しい国として出発したことを理解し、まとめる。 ● 国際社会の動きの中で、日本の独立が承認され、復興を願う国民の努力によって産業が発展したことが分かる。 ● オリンピックの開催が契機になり、国際社会に認められるとともに、さらに経済が発展し、国民の生活が往生したことが分かる。 ● 現在の日本が抱える問題や国際社会での課題、日本が果たすべき役割について考える。

12月	<p>11 わたしたちの願いを実現する政治</p> <p>子育て支援センターの見学 ソーレの活動 住みよいまちを目指して 税金の働きを調べる 国の政治1ー国会の働き 国の政治2ー内閣の働き 国の政治3ー裁判所の働き もっといろいろ調べてみよう まちづくりにわたしたちの声をいかに そう 国民の祝日について考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 身近な社会事象から学習問題を設定する。 ● 町内会長さんなどの話から公園をつくる手順を聞き、何を調べたらよいか見通しを持つ。 ● 公園ができるまでについて、市議会の働きについて主に調べ、調べたことをまとめる。 ● 国の政治について調べる。
1月・2月	<p>12 わたしたちのくらしと日本国憲法</p> <p>だれもが楽しめる公園 市の政策と日本国憲法 市の政治と基本的人権の尊重 市の政治と国民主権 市の政治と平和主義</p> <p>13 日本とつながりの深い国々</p> <p>アメリカと日本 アメリカの人々の生活 世界の大国・アメリカ 中国と日本 中国の人々の生活 経済発展を続ける中国 韓国と日本 韓国の人々の生活 近い国、韓国 サウジアラビアと日本 砂漠の国、サウジアラビア サウジアラビアの人々の生活</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 憲法前文に書かれていることから憲法について関心を持つ。 ● 日本国憲法の内容について調べる。 ● 日本国憲法が私たちの生活にどのような役割をはたしているかまとめる。 <ul style="list-style-type: none"> ● 日本は世界の国々と様々なつながりがあることに気づき、世界の国の人々の生活の様子に興味・関心を持つ。 ● 調べてみたい国を1カ国選び、調べる方法を考える。 ● 学習問題について観点を決めて調べる。 ● 調べて、わかったことや気づいたことを自分なりの方法で表現する。 ● 世界の国の人々の生活の様子には、異なる点や共通点があることに気づく。 ● 日本とつながりの深い国々との今後の付き合い方について話し合う。
2月・3月	<p>14 世界の未来と日本の役割</p> <p>青年海外協力隊について調べる NGOについて調べる 国連について調べる ユニセフについて調べる 国際紛争と平和について調べる 環境問題について調べる 世界の国々と日本との交流 これからの世界、これからの日本 わたしたちにできる国際協力を考えよう</p>	<ul style="list-style-type: none"> ● 広島市の国際交流について知り、日本の国際交流や国際協力について関心をもつ。 ● 青年海外協力隊やNGOの役割について調べる。 ● ユニセフの活動について調べ、国際連合が平和な国際社会の実現のために大きな役割を持ち、日本も重要な社会の一員として貢献していることを理解する。 ● 国際紛争と平和について調べてまとめる。 ● 環境問題について調べてまとめる。 ● 世界の国々と付き合い方を考える。 ● 平和な社会をつくるために必要な努力について考える。